



みつくら



《 北米産大豆 》

○12/13年 世界・米国大豆生産予測・需給予測

3月8日の米国農務省発表によれば、米国の生産量は前月予測の8,210万t、消費量、輸出量も変動はなく、期末在庫率は4.1%と変動はありませんでした。

世界の大豆生産量は前月予測の2億6,950万tから、150万t減の2億6,800万tへと減少しました。これはアルゼンチンの乾燥天候影響が出たものです。一方、ブラジルでは天候に恵まれ、史上最高の生産量を予測しており、上述のアルゼンチンも前年度より増産になることから、期末在庫率は、昨年度より1.5ポイント上昇し、23.1%となる予測です。

○2012年産カナダ産大豆動向

12年産カナダ大豆の作況・生産概況は、総生産量は夏場の高温乾燥の影響を受けたものの、相場高を背景に作付が拡大したことや、作付期の条件が理想的だったことなどにより、前年比16%増の492万2,000tと過去最高を更新しました。

一方で、NON-GM大豆の生産量は、作付拡大がほぼGM大豆のみだったことに加えて、ケベック州で他の作物への作付転換が進んだこともあり、26%減の109万4,000tに減少した結果となっています。

同国のNON-GM大豆の生産量は、○オンタリオ州=82万5,000t、○ケベック州=22万2,000t、○マニトバ州=3万9,000t、○プリンス・エドワード島=9,000tの総量109万4,000tとなっております。

ケベック州では、2010年時点で生産量の51%がNON-GMO大豆でしたが、現在は27%と大きく減少し、オンタリオ州でも同35%から25%へ減少しています。



《 国産大豆 》

○平成24年産大豆・2月の入札結果

2月20日に行われた入札結果によれば、普通大豆では107円上昇、特定加工用大豆では146円上昇しましたが、9,000円以上での落札銘柄は消え、価格の頭打ち傾向も感じられます。上場数量は、8,947tと前月を上回る水準でしたが、西日本銘柄の落札率はほぼ全量が落札されたほか、東北、北関東の銘柄も納豆用を除いて高い落札率を示し、落札率70%と高い水準で落札されました。

今後については、今期の入札が月1回で行われていたが、3月から月2回の入札実施となり、価格もある程度落ち着いてくるのではないかとの見方もあります。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
12月	3,614 t	1,822 t	50%
1月	8,318 t	5,129 t	62%
2月	8,947 t	6,301 t	70%
合計	20,897 t	13,252 t	63%

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



MI み つ く ら RA



《 トピックス 》

○ウクライナ産大豆について

双日食料㈱は今年からウクライナ産大豆の輸入を開始します。現在、非遺伝子組み換え大豆の輸入は主に北米に頼っていますが、これにより新たな調達先を確保することになります。まずは、数百トン規模での調達になりますが、今秋には3,000tの収穫を見込んでいます。将来的には、5,000t程度まで引き上げたい考えとのことです。

非遺伝子組み換え大豆の生産量が減少している中で、安定した確保が課題となってきましたが、この取り組みにより北米依存を緩和し、安定した大豆供給を図ることができるとして期待されています。

現在作付されている品種特徴は、糖質が高く、味噌・納豆向けの品種となっております。弊社でも米国産で同種の品種の取り扱いの実績があり、高い評価を得ていることから、相応の期待をもって取り扱っていきたいと考えております。

○ミャンマー情報

弊社営業部主任、大住が2月24日～28日にかけて、もやし用緑豆の情報収集のため、ミャンマーへ出張して参りました。今回の出張で得た情報を皆様にフィードバックするとともに、4月以降入港予定の良質な2012年産緑豆をご案内させていただきます。



選別工場内部



選別機械を新設中



圃場で作業されている現地のみなさんと弊社大住



2012年産緑豆

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>